

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場取引所 東大

上場会社名 青山商事株式会社
 コード番号 8219 URL <http://www.aoyama-syouji.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員社長 (氏名) 青山 理
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員企画管理本部長 (氏名) 宮武 真人
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

TEL 084-920-0050

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	148,998	—	11,508	—	9,170	—	2,649	—
20年3月期第3四半期	154,293	△0.1	15,758	△0.6	16,887	△7.1	8,201	△12.0

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	41.67		41.67	
20年3月期第3四半期	128.14		127.85	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円	銭
21年3月期第3四半期	321,619		218,755		67.5	3,412.08	
20年3月期	325,469		219,654		67.0	3,427.84	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 216,949百万円 20年3月期 217,939百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
21年3月期	—	20.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	206,100	△3.9	17,200	△27.6	20,200	△2.1	9,400	20.3	147.84

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 [(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	67,394,016株	20年3月期	67,394,016株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	3,811,243株	20年3月期	3,814,618株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	63,582,691株	20年3月期第3四半期	64,005,790株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値が異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

「参考」個別業績予想

平成21年3月期の個別業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	167,500	△3.2	14,100	△30.6	17,700	△0.5	8,300	41.8	130	54

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 紳士服販売事業〔青山商事(株)、カジュアルランドあおやま(株)、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商〕

① 当第3四半期(平成20年4月～12月)におけるわが国経済は、サブプライム問題を契機とした世界的な金融危機や為替の急激な変動等により、企業の設備投資意欲の減退や収益性の低下が顕著となってきております。また、個人消費につきましても物価上昇や株価低迷、社会保障に対する将来不安などにより消費者心理は冷え込んでおり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、青山商事(株)につきましては、一都三県を中心とした積極的な出店を実施するなどマーケットシェア拡大を図るとともに、お客様のニーズにお応えすべく、商品やサービスの向上などに努めました。また、10月より「洋服の青山」において、テレビCMなどを中心に映画「ハンサム★スーツ」とのタイアップキャンペーンを実施するなど若年層の取り込みを図り、効果を上げることができました。しかしながら、消費環境の悪化などにより、全般的には厳しい結果となりました。

第3四半期(10月～12月)の既存店売上高は前年同期比95.2%となり、累計(4月～12月)では前年同期比95.3%となりました。

なお、第3四半期(10月～12月)の3ヶ月間のメンズスーツの販売着数は前年同期比96.3%の748千着となり、累計(4月～12月)では前年同期比95.5%の1,824千着となりました。

② カジュアルランドあおやま(株)につきましては、第3四半期(10月～12月)の既存店売上高は前年同期比92.8%となり、累計(4月～12月)では前年同期比95.9%となりました。

③ 第3四半期(10月～12月)に「洋服の青山」において28店舗を出店(内16店舗は移転・建替)いたしました。また、「ザ・スーツカンパニー」において1店舗を出店し、「ザ・スーツカンパニーズウィークエンド」において1店舗出店いたしました。

この結果、第3四半期末の紳士服販売事業の店舗数は下記のとおりであります。

業態名	洋服の青山	プラスエー・ザ・スーツ・アオヤマ	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージ	ザ・スーツカンパニーズウィークエンド	キャラジャ	合計
店舗数	714	3	32	6	12	46	813

④ こうしたことから、第3四半期(4月～12月)までの紳士服販売事業の売上高は1,243億7百万円(前年同期比97.3%)、既存店売上高は前年同期比95.3%となり、概ね予想通りの状況となっております。また、営業利益につきましても、ほぼ予想通りの推移となっております。

⑤ 「包括的長期為替予約契約(クーポンスワップ契約)」等に係るデリバティブ評価損益(時価会計による為替予約等の評価損益)につきましては、平成20年3月末に比べて為替が円高になったことなどにより、営業外費用として33億31百万円を計上いたしました。

なお、経常利益、四半期純利益につきましては、3月末のデリバティブ評価損益が為替相場及び日米金利差の状況によって変わるため、現時点では、確定的なコメントができないことをご了承願います。

(2) その他事業

カード事業につきましては予想を上回る状況となっております。また、商業印刷事業、雑貨販売事業におきましては概ね予想通りの状況となっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産について、流動資産は1,592億64百万円(前期末比107億64百万円減)となりました。これは主として、棚卸資産54億41百万円増加に対し、現金及び預金が44億55百万円、有価証券が68億5百万円、営業貸付金が27億24百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は1,623億55百万円(前期末比69億14百万円増)となりました。

この結果、資産合計は3,216億19百万円(前期末比38億49百万円減)となりました。

負債について流動負債は678億52百万円(前期末比71億79百万円増)となりました。これは主として、未払法人税等の54億85百万円の減少に対し、短期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は350億11百万円(前期末比101億30百万円減)となりました。これは主として、長期借入金が増加したことによるものです。

この結果、負債合計は1,028億64百万円(前期末比29億50百万円減)となりました。

純資産合計については2,187億55百万円となり、前期末と比べ、8億99百万円の減少となりました。これは主として、利益剰余金が7億42百万円減少したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では11月に発表した連結業績予想を変更していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

a. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

b. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改定平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借契約に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

当該変更に伴う損益に係る影響は軽微であります。

③ 「棚卸資産の評価に対する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、当該会計方針を適用すべき会計事象が存在しないため、当該変更に伴う損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,145	25,600
受取手形及び売掛金	9,787	11,012
有価証券	15,187	21,993
商品	44,914	39,653
製品	52	43
原材料	159	93
仕掛品	42	71
営業貸付金	59,695	62,419
その他	9,177	10,015
貸倒引当金	△896	△875
流動資産合計	159,264	170,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	116,873	112,261
減価償却累計額	△57,229	△55,307
建物及び構築物(純額)	59,643	56,953
その他	50,076	45,032
減価償却累計額	△8,719	△9,510
その他(純額)	41,357	35,522
有形固定資産合計	101,000	92,476
無形固定資産	1,804	1,551
投資その他の資産		
敷金及び保証金	32,315	32,552
その他	27,305	28,969
貸倒引当金	△70	△107
投資その他の資産合計	59,550	61,413
固定資産合計	162,355	155,440
資産合計	321,619	325,469

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,012	19,453
短期借入金	14,110	4,260
未払法人税等	1,300	6,785
賞与引当金	333	1,294
その他	32,096	28,878
流動負債合計	67,852	60,673
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	5,785	16,025
退職給付引当金	3,211	3,058
ポイント引当金	2,740	2,986
その他	3,274	3,072
固定負債合計	35,011	45,141
負債合計	102,864	105,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,976	62,974
利益剰余金	121,943	122,685
自己株式	△12,245	△12,250
株主資本合計	235,178	235,914
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△419	△24
繰延ヘッジ損益	△70	—
土地再評価差額金	△17,739	△17,950
評価・換算差額等合計	△18,229	△17,974
新株予約権	114	82
少数株主持分	1,691	1,632
純資産合計	218,755	219,654
負債純資産合計	321,619	325,469

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	148,998
売上原価	66,075
売上総利益	82,922
販売費及び一般管理費	71,414
営業利益	11,508
営業外収益	
受取利息	350
受取配当金	124
その他	667
営業外収益合計	1,142
営業外費用	
支払利息	91
デリバティブ評価損	3,331
その他	56
営業外費用合計	3,479
経常利益	9,170
特別利益	
固定資産売却益	5
特別利益合計	5
特別損失	
減損損失	1,804
固定資産除売却損	1,169
投資有価証券評価損	914
特別損失合計	3,887
税金等調整前四半期純利益	5,288
法人税等	2,508
少数株主利益	129
四半期純利益	2,649

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

1. (要約) 前四半期連結損益計算書

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		
	金額(百万円)		百分比 (%)
I 売上高		154,293	100.0
II 売上原価		66,986	43.4
売上総利益		87,306	56.6
III 販売費及び一般管理費		71,547	46.4
営業利益		15,758	10.2
IV 営業外収益			
1 デリバティブ評価益	181		
2 その他	1,129	1,310	0.8
V 営業外費用		182	0.1
経常利益		16,887	10.9
VI 特別利益			
固定資産売却益	1	1	0.0
VII 特別損失			
1 固定資産除売却損	893		
2 減損損失	1,501		
3 投資有価証券評価損	4	2,399	1.6
税金等調整前四半期純利益		14,488	9.3
法人税等		6,090	3.9
少数株主利益		196	0.1
四半期純利益		8,201	5.3

2. 四半期財務諸表

- (1) 四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビューの対象ではありません。
- (2) 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

① 四半期貸借対照表

区 分	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)		前事業年度末に係る 貸借対照表 (平成20年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1 現金及び預金		12,521		17,321
2 受取手形及び売掛金		6,616		8,697
3 有価証券		14,989		21,993
4 商品		40,444		35,383
5 貯蔵品		267		256
6 関係会社短期貸付金		32,000		35,000
7 その他		6,454		7,430
貸倒引当金		△3		△4
流動資産合計		113,289	41.0	126,077
II 固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建物	91,824		89,444	
減価償却費累計額	△44,990	46,833	△44,990	44,453
(2) 土地		30,426		28,182
(3) その他	36,100		32,162	
減価償却費累計額	△16,811	19,288	△16,811	15,351
有形固定資産合計		96,549		87,986
2 無形固定資産		1,469		1,246
3 投資その他資産				
(1) 敷金及び保証金		31,519		31,758
(2) その他		33,825		35,364
貸倒引当金		△66		△94
投資その他資産合計		65,279		67,028
固定資産合計		163,297	59.0	156,262
資産合計		276,586	100.0	282,339

区 分	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)		前事業年度末に係る 貸借対照表 (平成20年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1 支払手形及び買掛金	14,961		15,530	
2 短期借入金	10,000		—	
3 未払法人税等	1,003		6,040	
4 賞与引当金	288		1,122	
5 その他	32,116		29,293	
流動負債合計	58,368	21.1	51,987	18.4
II 固定負債				
1 長期借入金	—		10,000	
2 退職給付引当金	3,062		2,927	
3 ポイント引当金	2,740		2,986	
4 その他	2,926		2,798	
固定負債合計	8,729	3.2	18,712	6.6
負債合計	67,098	24.3	70,699	25.0
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金	62,504		62,504	
2 資本剰余金	62,976		62,974	
3 利益剰余金	114,183		116,122	
4 自己株式	△12,245		△12,250	
株主資本合計	227,418	82.2	229,350	81.3
II 評価・換算差額等				
1 その他有価証券 評価差額金	△419		△24	
2 土地再評価差額金	△17,556		△17,768	
3 繰延ヘッジ損益	△70		—	
評価・換算差額等合計	△18,045	△6.5	△17,792	△6.3
III 新株予約権	114	0.0	82	0.0
純資産合計	209,488	75.7	211,640	75.0
負債・純資産合計	276,586	100.0	282,339	100.0

② 四半期損益計算書

区 分	第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
	金額(百万円)	百分比 (%)
I 売上高		119,565 100.0
II 売上原価		49,480 41.4
売上総利益		70,084 58.6
III 販売費及び一般管理費		61,516 51.5
営業利益		8,568 7.1
IV 営業外収益		
1 受取利息配当金	736	
2 不動産賃借料	373	
3 その他	299	1,408 1.2
V 営業外費用		
1 支払利息	57	
2 デリバティブ評価損	3,298	
3 その他	18	3,375 2.8
経常利益		6,601 5.5
VI 特別利益		
固定資産売却益		4 0.0
VII 特別損失		
1 固定資産除売却損	1,138	
2 減損損失	1,684	
3 投資有価証券評価損	914	3,736 3.1
税金等調整前四半期純利益		2,870 2.4
法人税等		1,416 1.2
四半期純利益		1,453 1.2